

# 認証TG およびパイロット事業とは

## SAF認証タスクグループ（TG）およびパイロット事業とは

- 国際民間航空機関（ICAO：イカオ）における脱炭素の枠組み（CORSlA：コルシア）において、GHG削減効果のあるSAFと認められるには「CORSlA適格燃料（CEF）」として登録・認証を得る必要があります。国産SAFのCEF登録・認証取得を促進するため、SAF官民協議会の下に「認証TG」を組織し、官民連携して取り組んでいます。
- 「認証TG」では、SAF製造の事業計画およびCEF認証取得の課題が具体化している案件を「パイロット事業」に選定し、その取組を支援しています。

## パイロット事業の支援内容

- 選定された「パイロット事業」のCEF登録・認証の課題について、個別に 航空局との課題検討会・コンサルタントとの協議・ICAOへの申請支援などを行います（財政的な補助ではなく、課題解決のご相談にのる事業です。）コンサルティングは、海外の認証スキーム（Sustainability Certification Scheme: SCS）も依頼しています。
- CORSlA適格燃料について知りたいという方は、まずは「CORSlA適格燃料登録・認証取得ガイド」およびそこで参照されているCORSlA関連文書をご確認ください。

## パイロット事業の選定基準・活動期間

- 次頁以降に示す選定基準に基づいて総合的に評価し、選定しています。
- 活動期間は年度を一区切りとしており、各年度初めまでにご相談のあった案件から対象事業を選定していますが、年度途中でのご相談・ご応募も可能です。

## 問合せ先

**国土交通省 航空局 航空戦略室（担当：村瀬、露口、呉）**

電話：03-5253-8111（内線 48173）、（直通）03-5253-8722

## パイロット事業（新規原料・製法登録）選定基準

- 自身が認証取得する もしくは 事業連合体の中で認証を取りまとめる立場にあること
- 主体的に活動できる体制を組まれていること  
(認証担当を置いて知見を蓄積されている、データ収集や整理・海外コンサルへの説明は自身で実施する など)
- パイロット事業で得られた結果・成果について、（個社の機密情報を除いた上で）協議会やガイドラインで公開することに了解を頂けること
- その上で 下記の観点から総合的に支援の必要性を評価して選定します
  - ✓ 内容の具体性（事業計画、取組体制、原料・製法・サプライチェーン、等）
  - ✓ 日程の具体性（事業全体、認証取得のタイムラインが設定されている）
  - ✓ 実現の確度（ASTM取得の見通し、投資判断状況、国プロ等採択状況、等）
  - ✓ 生産規模（目安・将来的に年産2万kL以上）

### （参考）ICAO CORSIAにおけるデフォルト値策定可否の判断基準

1. The pathway uses an ASTM certified conversion process or, a conversion process for which the Phase 2 ASTM Research Report has been reviewed and approved by the OEMs
2. The conversion process has been validated at sufficient scale to establish a basis for facility design and operating parameters at commercial scale
3. There are sufficient data on the conversion process of interest to perform LCA modelling.
4. There are sufficient data on the feedstock of interest to perform LCA modelling.
5. There are sufficient data on the region of interest to perform ILUC modelling, where applicable to the pathway.

# 認証TGパイロット事業 取組例 (1/2)

## 取組の設定例

- 進捗に応じて、ステージ① もしくは ステージ②で対応
  - ステージ①：海外コンサルとの協議は必須とせず。事務局主体でコンサルをおこなう。  
※ 海外コンサルは、認証スキーム（Sustainability Certification Scheme: SCS）に依頼。
  - ステージ②：認証やFTGへの申請準備を行う。多くの場合SCSとのコンサルを必要とする。事業者はより詳細なデータやロジック等を準備する必要がある。

取組 (例)	実施内容		ステージ	
	サポート形態	各社で実施すること	①	②
<b>①認証全般</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 認証に向けて何をすればよいか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務局より認証とは何かの解説</li> <li>• 今後の取組方針と一緒に作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取り組みたいSAF事業の明確化</li> </ul>	●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 認証ルール（例えばグループ認証、マスバランス管理）詳細がどうなっているか</li> <li>• 実際の審査で何を確認されるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SCSに個別相談しつつ、不明点に回答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不明点・質問事項の整理</li> </ul>		●
<b>②原料</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 複数の原料候補があるが認証の観点からいずれの原料が良いか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SCSに個別相談しつつ、サプライチェーンを明確化し誰が何をすべきかを検討</li> <li>• 認証の観点からの留意点を整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 想定する原料・サプライチェーンに関する基礎情報の収集</li> </ul>	●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ポジティブリストの原料に該当しているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SCSに個別相談しつつ、該当可否の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 原料に関する基礎情報の収集</li> </ul>	●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ポジティブリストに新規原料を追加したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SCSに個別相談しつつ、FTG申請に必要な基礎データの収集・ロジックの作成検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 原料の基礎的なデータ収集・ロジック案の検討</li> </ul>	●	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SCSに個別相談しつつ、FTG申請に向けて、データ・ロジックの準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 原料の詳細なデータ収集・ロジック案の作成</li> </ul>		

# 認証TGパイロット事業 取組例 (2/2)

## 取組の設定例

取組 質問点 (例)	実施内容		ステージ	
	サポート形態	各社で実施すること	①	②
<b>③ LCA算定</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のデフォルト値が使えるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCSに個別相談しつつ、該当可否の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定する原料・製造方法に関する基礎情報の収集</li> </ul>	●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト値を申請したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCSに個別相談しつつ、デフォルト値申請に必要なデータの特定・準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト値算定に必要な基礎データ（個社データ＋公知の文献データ等）の収集</li> </ul>	●	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCSに個別相談しつつ、FTG申請に向けて、データの準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト値算定に必要な詳細データの収集</li> </ul>		●
<ul style="list-style-type: none"> <li>実測値算定方法があっているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCSに個別に相談しつつ、算定結果を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実測値の算定</li> </ul>		●
<b>④ CI値低減</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のルール（低LUCアプローチ、LEC/REC）の詳細がどうなっているか</li> <li>実際の審査で何を確認されるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCSに個別相談しつつ、不明点に回答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のルールを当てはめた場合のCI値の算定</li> <li>不明点・質問事項の整理</li> </ul>		●
<ul style="list-style-type: none"> <li>CI値を低減するために新しい方策（例えば再エネ証書の活用、新しい排出クレジットの開発）を提案したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCSに個別相談しつつ、提案するためのロジック案を整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組みたい事項の詳細を整理</li> </ul>	●	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>FTG申請に向けて、データ・ロジックの整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細なデータ収集・ロジック案の作成</li> </ul>		●

## FTG(もしくはコンサル)との議論に提示する情報(例)

- Company Profile (会社概要)
  - 主な事業、認証取得経験など
- Proposal/Business Concept(事業計画)
  - 提案する新規原料 もしくは 新規プロセスの説明、内容・特徴・利点など
  - ポテンシャル(活用可能量の推計)
  - 商業化での生産量
  - サプライチェーンの全体像
    - 実施地域(国)、農地、施設の配置・規模など
    - 輸送の形態・方式(乾燥原料・搾油、車・船など)。
  - パートナー事業者と役割分担
- Evaluation (提案に対する評価)
  - 原料については、By-Product, Waste, Residue に適合することの説明(ICA0 のdecision tree を用いた説明)。
  - 原料が残渣・廃棄物にあたる場合、現状での廃棄・使用の状況
  - Product・Co-Product の場合はILUC・DLUC への影響に関する見解
  - SDGs (Principles & Criteria)に対する見
    - 食料競合、水 etc.
    - 森林伐採・火災、生物多様性、気候変動への影響(メタン発生)、土地を巡る紛争、土壌浸食・汚染、労働と安全 etc.
- Project Status
  - 開発全体日程(技術開発・事業開発両面で) ベンチテスト、パイロットプラント、商用プラントの状況・建設日程、認証用データ取得・手続期間、投資判断時期
  - 開発状況 なにがどこまで進んでいるか、主要な開発課題はなにか。
- Technical Information (技術情報)
  - 原料・製造プロセスの説明
  - ASTM 規格適合することの説明(もしくは見込み)、新規登録の場合はその状況(登録見込みが立っていること)
  - LCA 試算(あれば)
- Conclusion (まとめ・FTG への要請など)